

旧魁陽亭

魁陽亭は、約 130 年にわたり豪商や政治家、著名人をもてなしてきました。1885 年から 1890 年の間に堺町通りに近い、現在の場所で創業したとされています。この料亭は大正時代（1912 年-1926 年）に増築されて、現在の建物は異なる時期に造られた 3 つの棟がつながっている構造になっています。中央の棟にある宴会場はこの建物の最も古い部分で、1894 年の火災後に再建されたようです。

魁陽亭は、小樽の商港としての栄華盛衰を反映していました。創業当初の常連客は、新たに富裕層となった海運商やニシン漁で財を成した漁師たちでした。現在も残っている特徴として、輸入ガラスをはめ込んだ窓やガス灯のシャンデリア、ヤシの木を使った飾り柱などがあり、20 世紀初頭の小樽の繁栄ぶりがうかがえます。大宴会場の 1 つは第二次世界大戦後に進駐軍の社交場として利用するために改築されました。2015 年まで料亭として営業していました。魁陽亭は現在、一般には公開されていません。